

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	31 駅前自転車等駐車場等管理運営事業			
総合計画	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち		担当部	企画部
	基本計画【施策】	5-⑤利用しやすい公共交通		担当課	市民協働課
関連予算科目	一般 会計	02 款 総務費	01 項 総務管理費	08 目 交通安全対策費	
	予算事業名	基本事業(事業1)	公共交通推進費	細事業名(事業2)	駅前自転車等駐車場等管理運営事業
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託	対象	全市民
事業期間	開始年度		終了予定年度		
事業の目的	市内各駅までの通勤通学の足となる自転車のための駅前自転車等駐車場や公衆便所を整備・維持管理することにより快適に利用できる環境を整備する。				
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各駅までの移動手段として、通勤通学者の自転車置場として、市内の5駅に駐輪場を設置する。(新居町駅は新居支所が管理) ・不特定多数が利用する新所原駅には公衆便所を設置する。(知波田駅公衆便所は商工観光課が管理) ・これらの施設を快適に利用できるように、維持管理を行う。 				

2. 事業の実績(Do)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車等駐車場の整備、維持及び管理 ・駐輪場内の放置自転車の整理 ・公衆便所の維持、管理 					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車等駐車場の利用者マナーが悪い。 ・放置自転車整理員の任務、役割の見直し ・公衆便所の施設が老朽化している。 					
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	事業費(A)	当初予算額	2,078 千円	1,933 千円	1,733 千円	
		決算(見込)額	1,883 千円	2,122 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	千円	千円	0 千円	
		一般財源	1,883 千円	2,122 千円	1,733 千円	
	人件費(B)		2,142 千円	2,279 千円	1,877 千円	
	人工(職員数の内訳)		0.3 人	0.3 人	0.2 人	
トータルコスト(A)+(B)		4,025 千円	4,401 千円	3,610 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	放置自転車の台数	台	目標	200	120	
			実績	146	263	
		達成度	137.0%	45.6%		

3. 評価(Check)

総合判定	<p style="text-align: center;">B 「課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>市が継続して実施する必要がある。</p>	
------	---	--

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	改善(その他)
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	放置自転車の撤去を直接事業者へ依頼することで運搬の負担が軽減され、再利用ができない自転車を金属として販売収入を得ることが出来ることになった。 新所原駅の有料化を検討中。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	32 バス事業				
総合計画	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			担当部	企画部
	基本計画【施策】	5-⑤利用しやすい公共交通			担当課	市民協働課
関連予算科目	一般	会計	02 款 総務費	01 項 総務管理費	08 目 交通安全対策費	
	予算事業名	基本事業 (事業1)	公共交通推進費		細事業名 (事業2)	バス事業
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象	全市民	
事業期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度			
事業の目的	市民の日常生活における交通手段の確保を図り、快適な住まい環境の確保を図る。特に、高齢者、通学児童、生徒、通勤者の日常生活の移動手段を確保する。					
事業の概要	市民の通勤通学や通院、買い物の為の利用の利便を図るため、コミュニティバスを運行する。					

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	・各地区からJR駅へ運行する7路線を車両5台で運行するコミュニティバス事業の実施					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度と比較して利用者は増えていない。 ・運行内容が知られていない。 現状把握の方法に工夫が不足している。					
コスト	事業費 (A)	当初予算額	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		決算 (見込) 額	12,767 千円	53,293 千円	50,179 千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	13,085 千円	53,780 千円	千円	
		一般財源	千円	千円	0 千円	
	人件費 (B)	7,499 千円	7,978 千円	5,630 千円		
	人工 (職員数の内訳)	1.0 人	1.0 人	0.8 人		
	トータルコスト (A) + (B)	20,584 千円	61,758 千円	55,809 千円		
活動指標	内容	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
指標	コミュニティバス年間利用者数	人	目標	98,000	90,000	
		実績		91,493	80,677	
		達成度		93.4%	89.6%	

3. 評価 (Check)

総合判定	<p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">B</p> <p style="text-align: center;">「課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>一部路線での運行や経路の見直しの必要性やバス停の安全対策が不十分であることから、早急な改善を実施する。</p>	
------	---	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	バス運行計画に基づき、ゼロベースでバスを見直し、市内7路線で運行を開始した。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No.	34 地域公共交通対策事業			
総合計画	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち		担当部	企画部
	基本計画【施策】	5-⑤利用しやすい公共交通		担当課	市民協働課
関連予算科目	一般 会計	02 款 総務費	01 項 総務管理費	08 目 交通安全対策費	
	予算事業名	基本事業 (事業1)	公共交通推進費	細事業名 (事業2)	地域公共交通対策事業
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託	対象	全市民
事業期間	開始年度		終了予定年度		
事業の目的	市内の公共交通を総合的に見直し、より利便性の高い、市民に利用される地域公共交通サービスの充実を図る。				
事業の概要	地域公共交通会議では、市民生活に必要なバス等の旅客輸送の確保を図り、利用者がより便利に利用できる施策や地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する。また評価改善委員会において、計画に基づいた進行管理を行い、運行の見直しや利用促進策の見直しにつなげる。				

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	地域公共交通会議の開催 (5回) バス運行評価改善委員会の開催 (3回) 地域公共交通庁内分科会の開催 (2回) みんなで創ろう!バス交通市民会議の開催 (2回)					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者増につながっていない。 ・運行内容等の見直しにつながるための現状把握の方法の工夫が必要。 ・運行内容が正しく伝わっていない。 					
コスト	事業費 (A)	当初予算額	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		決算 (見込) 額	3,658 千円	4,147 千円	10,004 千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	10,992 千円	3,805 千円	0 千円	
		一般財源	10,992 千円	3,805 千円	10,004 千円	
	人件費 (B)	4,285 千円	6,838 千円	4,488 千円		
	人工 (職員数の内訳)	0.5 人	0.9 人	0.6 人		
	トータルコスト (A) + (B)	15,277 千円	10,643 千円	14,492 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	地域公共交通利用圏域		%		86	86
			達成度	71	86	100.0%

3. 評価 (Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>市・運行事業者による運営事務局を中心に取組体制を構築し、コーちゃんバスの改善につなげている。</p>	<p>必要性</p> <p>有効性</p> <p>優先性</p> <p>効率性</p>
------	--	---

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	コーちゃんバス運行内容を評価し改善するための組織をつくり、取組体制を構築する。また、評価改善報告書を取りまとめ、次年度への運行内容の見直しに反映させた。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No.	35 天竜浜名湖鉄道対策事業			
総合計画	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち		担当部	企画部
	基本計画【施策】	5-⑤利用しやすい公共交通		担当課	市民協働課
関連予算科目	一般 会計	02 款 総務費	01 項 総務管理費	08 目 交通安全対策費	
	予算事業名	基本事業 (事業1)	公共交通推進費	細事業名 (事業2)	天竜浜名湖鉄道対策事業
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象	全市民
事業期間	開始年度		終了予定年度		
事業の目的	天竜浜名湖鉄道の経営の安定を図り、地域住民の交通手段の確保と地域活性化を図る。				
事業の概要	天竜浜名湖鉄道の利用促進と地域のマイルール意識を高め、財政的支援を計画的に行うことで、経営を長期安定化する。				

2. 事業の実績(Do)

事業実績	天竜浜名湖鉄道経営助成基金への負担金 天竜浜名湖鉄道市町会議での利用促進 小学校新入学記念乗車切符の助成事業 敬老記念乗車切符の助成事業					
課題	市町会議が実施する施策や各種イベントが、必ずしも利用促進につながっていない。小学校進入学記念乗車切符の利用率が悪い。					
コスト	事業費 (A)	当初予算額	平成24年度 17,048 千円	平成25年度 14,751 千円	平成26年度 23,347 千円	
		決算(見込)額	16,483 千円	14,137 千円		
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など			0 千円	
		一般財源	16,483 千円	14,137 千円	23,347 千円	
	人件費 (B)	2,678 千円	2,279 千円	1,877 千円		
	人工(職員数の内訳)	0.3 人	0.3 人	0.2 人		
	トータルコスト (A) + (B)	19,161 千円	16,416 千円	25,224 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	市内乗降客数		人	目標	350,000	350,000
				実績	330,145	356,679
		達成度	94.3%	101.9%		

3. 評価(Check)

総合判定	<p style="text-align: center;">B 「課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業」</p> <p>《判定理由》 沿線住民のための大切な交通手段として、維持すべき公共交通であるため。</p>	<p>必要性</p> <p>有効性</p> <p>優先性</p> <p>効率性</p>
------	---	---

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	<p>各種施策やイベントが継続的な利用促進につながるよう工夫が必要。</p> <p>●25年度から新入学児童の親にも記念乗車券を配布して利用促進を図る。</p>

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	387 新所原駅周辺まちづくり事業			
総合計画	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち		担当部	都市整備部
	基本計画【施策】	5-⑤利用しやすい公共交通		担当課	都市計画課
関連予算科目	一般 会計	08 款 土木費	04 項 都市計画費	01 目 都市計画総務費	
	予算事業名	基本事業(事業1)	都市計画総務関係経費	細事業名(事業2)	新所原駅周辺まちづくり事業
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象	その他 新所原駅周辺及び駅の利用者
事業期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	平成30年度	
事業の目的	新所原駅周辺の整備を推進することにより、交通利便性の良いまち、安心安全なまちづくりを行う。				
事業の概要	JR委託による自由通路新設及び橋上駅舎化事業、南北駅前広場詳細設計、北口駅前広場整備に伴う新所原駅嵩山線排水路布設替工事及び土地購入と物件移転補償を行い事業の推進を図る。				

2. 事業の実績(Do)

事業実績	自由通路新設及び橋上駅舎化設計等業務 一式 自由通路新設等に伴う天浜線に係る仮設設計等業務 一式 新所原駅嵩山線排水路布設替工事 L=86m 駅前広場詳細設計 北口A=3,900㎡ 南口A=4,500㎡ 駅前広場等用地契約 A=412㎡					
課題	事業予算の確保 コスト縮減					
コスト	事業費(A)	当初予算額	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		決算(見込)額	83,079 千円	507,993 千円	195,728 千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	105,200 千円	126,964 千円	163,934 千円	
		一般財源	22,483 千円	116,941 千円	31,794 千円	
	人件費(B)	27,862 千円	28,505 千円	30,281 千円		
	人工(職員数の内訳)	3.6 人	3.7 人	4.0 人		
	トータルコスト(A)+(B)	155,545 千円	272,410 千円	226,009 千円		
活動指標	駅周辺施設整備の全体計画に対する整備率(累計)	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		%	目標	3	15	
			実績	3	9	
達成度	100.0%	60.0%				

3. 評価(Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>JRとの工事協定により、H28年度までに自由通路及び橋上駅舎の整備を完了する必要がある。</p>	<p>必要性</p> <p>有効性</p> <p>優先性</p> <p>効率性</p>
------	--	---

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	新所原駅周辺整備事業寄付金を広く募集。社会資本整備総合交付金を活用。